

## 令和4年第5回 吉田町教育委員会

---

- 1 開催期日 令和4年4月25日(月)  
開会 午後 1時30分  
閉会 午後 3時25分
- 2 場 所 吉田町役場 6階 会議室2
- 3 出席委員 塚本 成男 北澤 雅恵  
増田 真也 中村 成宏
- 4 議場に出席した者の職氏名 教 育 長 山田 泰巳  
学校教育課長 糸田 真男 生涯学習課長 中山 孝宏  
主席指導主事 水嶋 浩之 指 導 主 事 平井 奉子  
指 導 主 事 谷澤 宏昭 学校教育課統括 山村 加奈子  
学校教育課統括 山内 康弘
- 5 傍聴人数 0人

### 次 第 (会議録概要)

---

- 1 開 会
- 2 教育長の報告 資料No.1
- (1) 報告事項 4月の教育委員会の行事について
- (2) 町内教職員の状況
- (3) その他 4月7日現在の各小中学校の学級数及び児童生徒数
- 3 会議録署名委員の指名 増田委員
- 4 議 事
- (1) 報告事項
- |                     |       |  |
|---------------------|-------|--|
| ア 生徒指導について          | 【非公開】 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No.2</span> |
| イ 令和4年度就学援助費の認定について | 【非公開】 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No.2</span> |
| ウ 児童生徒の区域外就学について    | 【非公開】 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No.2</span> |

- エ 令和4年度吉田町立小・中学校の主任等の任命について 資料No.3  
・質疑・意見なし
- オ 令和4年度当初予算（教育費）について 資料No.4  
・質疑・意見なし
- カ 学校運営協議会について 資料No.5 ※資料は非公開  
(委員からの質疑・意見)
- ・住吉小学校と中央小学校は、委員数が少ないが。⇒ 学校ごとに選ぶコンセプトが少し異なっている。住吉小と中央小は、少ない人数で始まり、自彊小学校は、既に係わっている方を皆入れる形の選び方である。中学校は学区が広いので、いろいろな立場の方を広く集めて意見をもらう選び方をしている。
  - ・自彊小学校では、授業参観をした後に、地域の方々が学校の教育活動に入りやすくするためにはという内容でグループ協議したものを発表し、その後に運営協議会に入っていく予定である。学校は地域の人達に入ってもらいたいというのが一つ目的としてあるが、地域の人達は、学校に入って自分達は何をすれば良いのか、学校の教育活動に自分達がどう役に立つのか、ボランティアがほしいのか、先生達と一緒に教える人がほしいのかなどが分からない。学校においても、校長や町がやりなさいと言っているから、先生は地域の人を一生懸命入れるという流れだと、あまり良くないと感じている。自彊小学校の子供は皆で育てる、地域で育てるという信念があり、今の教育活動の中でそれが不可欠であることを、先に地域の方へ理解してもらいたい。CSディレクターも含め、学校でどういう話し合いができていくのか、学校ごとに違って良いので、学校ごとの方向性を出してもらえると分かりやすくなると感じた。
  - ・運営協議会で出た話が、しっかりと先生に伝わるようにしてもらいたい。⇒ 学校がコミュニティスクールとして、地域と一緒に学校を作るという形が進んでいくためのキーポイントになるのは、CSディレクターが先生と積極的に係わっていくことである。特に、最初のうちは、意識的にディレクターには教員と係わることをやってもらいたいと思う。また、年2回教員の担当者会があるので、その時に学校組織としてどうやってそこで話題にして共有していくのかは、ディレクターが一つのキーパーソンになると思う。また、委員やディレクターの中には、複数の学校、小学校と中学校の両方を経験する方もいるようなので、それも一つの情報交換の場になると思う。
- キ 全国学力・学習状況調査について  
(委員からの質疑・意見)
- ・これまでは基礎的学力があって、それを応用して自分の生きていく人生に生かしていくという感じだったが、今は応用の仕方が中心で、それをやりながら基礎的学力が自然についてくるという雰囲気であり、それで本当に基礎的な学力がつくのか疑問である。⇒ やはり知識がないと解けないと思うので、基礎

学力は大事である。ただ、ここまで応用するような問題を授業でどこまでできるかというのが、なかなか苦労しているところだと思う。根本的に授業の在り方や子供の方も学び方を変えていかなければいけないと思う。こういう問題を見て、私だったらこうするというように自分で見つけていくような形に変えていかないと、おそらく解けない。授業で全てこれをやることは難しいので、学び方を変えて、子供達が学び取っていきけるような形の授業に変えていかなければいけない。そういったことを、全職員研修会や管理職研修会の時に話をして、授業改善、教えるのではなく学び取っていく、教わる授業から学び取る授業へ変えていこうという話をしたところである。

- 去年の県学調と比べても、全然違う雰囲気だと思うが。 ⇒ 先生方の授業を変えていかなければいけないという意識はとても高く、アンケートでも88.1%が、授業観を変えていかなければいけないという肯定的な意見を持っている。しかし、分かってはいるけど、どうしていったらいいのか分からないという意見があがっているので、今年の町の全体研修では、そこを研修していくことになっている。子供達にどんどん任せていったり、自分達で選択させていったりするような場面を多くしていかない限り、子供達は思考していかないし、そのためには、いかに話せるかが大事となり、話せるところに持っていくための基盤をいかに上手に作っていきけるかというのが、先生達の力としてもかなり求められていると感じている。

## 5 その他

- 訴訟について
- 今年度の教育委員会視察について
- 今後の教育委員会等の予定について

## 6 閉 会